

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

2018-2019年度 国際ロータリー会長 バリー・ラシン



2018-2019年度

会長: 榎野智之 幹事: 石川一郎 クラブ会報委員長: 服部雅紀

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ホテルナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2019 June 12

■ 2018~2019年度方針
ロータリー友情を育み、絆を深めよう

NO.43

例会報告

●第2269回例会 令和元年6月12日(水) 晴

●6月はロータリー親睦活動月間

●あじさい夜間例会

18:30~ ホテルナゴヤキャッスル

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 88 名中 出席56名
(78)

出席率71.79% 修正出席率88.00%
(5月29日分)

●ビジター紹介 (ホテルナゴヤキャッスルへのビジター受付)

伊藤 有君 (東京銀座RC) 外39名

●ゲスト紹介

米山奨学生 テイン ルウィン ミミさん

●ニコボックス

「あじさい夜間例会を楽しく過ごしましょう。」

榎野智之会長、本多國泰副会長、石川一郎幹事

宮下幸二郎君、梶田浩太郎君、岩田玄知君

加治佐健二君、足立吉正君、田尻幹夫君

山下寛高君、加藤智弘君、西川義章君

久保哲政君、田中正次君、林 邦司君

倉地雅彦君、小栗正章君、中川信治君

山本秀樹君、田中知克君、山崎健而君

野崎敏夫君、天野俣明君、黒田史郎君

小池康資君、川崎利男君、森 正志君

片桐寛治君、小林利之君、内間三好君

浅野 洋君、宮崎卓也君、服部 滋君

平木聖三君、山村博伸君、端山佳誠君

相羽繁生君、長澤功雄君、伊藤勝康君
上野山 進君、山田和弘君、佐藤公俊君
近藤東臣君、富島照男君、吉田正道君
加藤寿彦君

「麻雀会で優勝しました。」 夏目 稔君
本日のニコボックス 2件 96,000円
累 計 234件 1,925,750円

石川一郎幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・6月19日(水) 新旧理事会を開催致します。
(例会終了後の理事会はございません)
今年度 17時~
新年度 17時30分~
懇親会 18時~
場所はか茂免です。
- ・6月26日(水) 休会。
- ・7月10日(水) 納涼夜間例会、時間は18時~
場所はホテルナゴヤキャッスル
です。

※お昼の例会はございません。

※出席100%の表彰を行います。

※本日、納涼夜間例会のご案内を配布しております。

榎野智之会長挨拶

『日本が香港やシンガポールに負けない理由』

最近では、アジア諸国が台頭してきたことを受けて、日本が「香港やシンガポールに負ける!」などと言われています。だがアジア諸国の主要都市は、東京をはじめとする日本を追い越すことができません。

その理由を挙げれば枚挙にいとまがないのですが、

香港や中国の諸都市における大気汚染は有名な話で、その空気の悪さは日本の比ではない。食に関しても問題が多く、中国における食の危険はよく知られているところだし、シンガポールも人間が生きるうえで一番重要な水をほとんど隣国のマレーシアから買っています。安全な国と言われているシンガポールは言論の自由が制限されているし、それは香港も同じであります。

しかし、香港やシンガポールが日本を追い越す事ができない本質的な理由は、母国語を捨てていることなのです。ビジネスや文化活動における言語は、英語が主流になっているからです。母国語を失う事は、国民のアイデンティティ崩壊につながります。アイデンティティが崩壊すれば、国独自の価値観や文化が失われ、強みを喪失することにつながる。

歴史を振り返れば、戦争に勝った国が敗戦国に対して真っ先に行なうのは、母国語を捨てさせ、自国の言葉を使わせることです。母国語を捨てさせることでその国の強みを奪い、自国に従属させるのであり、逆に、日本では日本語がしっかり生きていることが強みになっています。私たちが日々使っている日本語の奥深い味わいや、日本語によって生み出された様々な文化が、日本を支えているのであります。

だが、リスクがないわけではない。今、大学入試でTOEFLなどの導入を義務付ける動きや、社内公用語を英語にする企業が増えている。

日本語を捨てて英語を使うことは、日本の文化を捨てることになる馬鹿げた行為である。こうした動きが支配的になれば、日本の強みが失われていくことにつながります。

英語を使うことを制限し、自国語を大切にしている国と言えば、フランスが有名です。フランスは自国の文化伝統を守るためにやっています。フランスは、フランスらしい数多くのブランド価値を持つ製品を世界に提供できているが、フランス語を大事にしているからこそできることなのです。

アトラクション

邦楽デュオ かぐや プロフィール

「邦楽デュオかぐや」は、津軽三味線奏者であり民謡も手がける加藤訓音（かとうさとね）と和太鼓・シンセサイザーを担当する石原奈緒美（いしはらなおみ）の2名で構成されるデュオです。小さい頃から邦楽一筋の加藤訓音と、クラシックピアノから

ロックバンドのドラム、キーボードを経て現在に至る石原奈緒美の音楽性がぶつかり合い生まれた音楽を、あるときはしっとりとしたときはパワフルにお届け致します。

津軽三味線・民謡 加藤 訓音（かとう さとね）

母親の影響で幼少の頃より民謡三味線を学ぶ。

「津軽じょんから節」に魅せられ、中学時代に秋田市在住の津軽三味線奏者である加藤流三絃道家元加藤訓（さとし）師に師事。長期の休みを利用しては家元宅に住み込み津軽三味線を修得。

和太鼓・シンセサイザー 石原 奈緒美（いしはら なおみ）

幼少の頃よりクラシックピアノを始める。高校時代にロックに傾倒、キーボード、ドラム担当としてライブ活動を始める。卒業後は和太鼓に魅せられ津軽三味線とのセッションを始め、また同時にピアニストとしてもプロ活動を始める。

シンセサイザーも取り入れながらその多様な音楽性を活かし、胡弓、篠笛、箏、フルート、バイオリンなどとも共演し経験を積む。



例会	月日	今後の予定
第2270回	6.19	楨野智之会長 「一年をふりかえって」
	6.26	休会
第2271回	7.3	服部 滋新会長挨拶
第2272回	7.10	納涼夜間例会 出席100%表彰 18:00～ ホテルナゴヤキャッスル
第2273回	7.17	クラブフォーラム

○このウィクリーは再生紙を使用しております。